

第2会場●2F 自由研修室

■司 会／平川 崇 熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 社会教育主事
松尾まゆみ 社会教育士
元北九州市市民文化スポーツ局生涯学習センター 社会教育主事

分科会の進め方

13:45~13:50

1 熊本地震復興支援活動とSDGs(持続可能な開発目標)の推進

13:50~14:20

神田みゆき(熊本県熊本市近郊) NPO法人SDGs Association熊本 代表理事・なないろネットワーク熊本 代表

2016(平成28)年4月14日夜および16日未明に、熊本県と大分県の両県で震度7を観測する地震が発生した。地震発生2か月前に、ボランティアのネットワークをつくるために「なないろネットワーク熊本」を立ち上げていたため、すぐに支援活動を開始できた。ボランティアのコーディネートを行う中で「SDGs」を知る。

現在はSDGsをキーワードとして、人と人をつなぎ、ゆるやかなネットワークをつくりながら、子どもたちの未来を守る活動に取り組んでいる。

2 小学校教員発 ～悩めるお母さんを元気にする子育て支援～

14:30~15:00

中村 隆(福岡県粕屋町) かすや子育て研究会・かぶとむし 代表

「子育て中の親や子どもを育てている教員として、地域の親と一緒に学びたい」という願いから、小学校の先生たちが集まって、2013(平成25)年から子育て支援をメインに始めたサークル。

地域に開かれ、教師・保育士・地域住民等で構成されたサークルで主要人数は約20名、文部科学省の家庭教育支援チームにも登録されている。

ティータイム

15:00~15:30

3 若者支援のはちみつ作り「ブンブンプロジェクト」

15:30~16:00

宮城仁太郎(沖縄県浦添市) 一般社団法人まちづくりうらそえ浦添市宮城っ子児童センター

引きこもり者の「はちみつを作りたい」の一言から活動が始まった。

活動主体は若者支援サークルBee freeで、目的は①引きこもり等当事者の出口支援、②地域の担い手不足の解消、③福祉教育の素材としての展開。

主な活動は巣箱の管理で巣箱設置場所周辺の清掃や同様の悩みを抱える若者のピアサポート等も行っている。当事者からは「居場所ができて前向きになれた」という話も聞けるようになってきた。自治会や企業、民生委員らの協力を得て事業を運営している。